

令和2年度 財政状況資料集

総括表（市町村）

都道府県名	青森県	市町村類型	Ⅱ-〇	指定団体等の指定状況		区分		令和2年度(千円)	令和元年度(千円)	区分		令和2年度(千円・%)	令和元年度(千円・%)																																																																																																																																																																
				財政健全化等	×	歳入総額	8,257,392			7,298,510	実質収支比率			2.0	2.4																																																																																																																																																														
市町村名	深浦町	地方交付税種地	2-1	財源超過	×	歳出総額	8,133,816	7,189,748	経常収支比率	96.7	99.1	(99.3)	(101.8)																																																																																																																																																																
				首都	×	歳入歳出差引	123,576	108,762	(※1)																																																																																																																																																																				
				近畿	×	翌年度に繰越すべき財源	34,787	3,875	標準財政規模	4,530,695	4,412,315																																																																																																																																																																		
				中部	×	実質収支	88,789	104,887	財政力指数	0.17	0.17																																																																																																																																																																		
人口	令和2年国調(人)	7,346	産業構造(※5)		中部	×	単年度収支	-16,098	13,246	公債費負担比率	17.4	22.5																																																																																																																																																																	
	平成27年国調(人)	8,429			過疎	○	積立金	1,459	1,470	健全化判断比率																																																																																																																																																																			
	増減率(%)	-12.8			山振	○	繰上償還金	0	182,120	実質赤字比率	-	-																																																																																																																																																																	
住民基本台帳人口(※7)	令和03.01.01(人)	7,787	第1次	平成27年国調	920	1,092	低開発	×	積立金取崩し額	0	165,000	連結実質赤字比率	-	-																																																																																																																																																															
	うち日本人(人)	7,766		25.1	26.8	指数表選定	○	実質単年度収支	-14,639	31,836	実質公債費比率	10.8	11.9																																																																																																																																																																
	令和02.01.01(人)	8,019	第2次	743	858			基準財政収入額	750,216	704,695	資金不足比率(※4)																																																																																																																																																																		
	うち日本人(人)	7,994		20.3	21.1			基準財政需要額	4,232,482	4,100,248																																																																																																																																																																			
	増減率(%)	-2.9		2,005	2,126			標準税収入額等	932,099	883,989																																																																																																																																																																			
	うち日本人(%)	-2.9	第3次	54.7	52.2			経常経費充当一般財源等	4,394,674	4,390,910																																																																																																																																																																			
	面積(km ²)	488.90						歳入一般財源等	5,382,368	5,263,881																																																																																																																																																																			
人口密度(人/km ²)	15																																																																																																																																																																												
世帯数(世帯)	3,047																																																																																																																																																																												
職員状況																																																																																																																																																																													
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等(※6)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高	8,344,150	8,324,684																																																																																																																																																																		
	市区町村長	1	7,100	一般職員	107	326,992	3,056	うち公的資金	6,060,992	6,187,893																																																																																																																																																																			
	副市区町村長	1	5,720	うち消防職員	-	-	-	債務負担行為額(支出予定額)	299,852	146,894																																																																																																																																																																			
	教育長	1	5,310	うち技能労務職員	-	-	-	収益事業収入	-	-																																																																																																																																																																			
	議会議員	1	2,690	教育公務員	1	*	*	土地開発基金現在高	54,469	54,469																																																																																																																																																																			
	議会副議長	1	2,310	臨時職員	-	-	-	財政調整基金	1,912,048	1,910,589																																																																																																																																																																			
	議会議員	10	2,200	合計	108	330,267	3,058	積立金現在高	160,952	952																																																																																																																																																																			
				ラスバイレス指数				94.8	減債基金	160,952	952																																																																																																																																																																		
									その他特定目的基金	1,015,558	963,443																																																																																																																																																																		
	<table border="0"> <tr> <td>一般会計等の一覧</td> <td>事業会計の一覧</td> <td>公営企業(法適)の一覧</td> <td>公営企業(法非適)の一覧</td> <td>関係する一部事務組合等一覧</td> <td>地方公社・第三セクター等一覧</td> </tr> <tr> <td>項番</td> <td>会計名</td> <td>項番</td> <td>会計名</td> <td>項番</td> <td>組合等名</td> <td>項番</td> <td>団体名</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(※3)</td> </tr> <tr> <td>(1)</td> <td>一般会計</td> <td>(2)</td> <td>国民健康保険事業特別会計(事業勘定)</td> <td>(7)</td> <td>水道事業会計</td> <td>(8)</td> <td>下水道事業特別会計</td> <td>(9)</td> <td>青森県市町村総合事務組合</td> <td>(19)</td> <td>株式会社ふかうら開発</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>(3)</td> <td>国民健康保険事業特別会計(直診勘定)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(10)</td> <td>青森県市町村職員退職手当組合</td> <td>(20)</td> <td>しらかみ十二湖株式会社</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>(4)</td> <td>後期高齢者医療特別会計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(11)</td> <td>西海岸衛生処理組合</td> <td>(21)</td> <td>一般財団法人深浦町食産業振興公社</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>(5)</td> <td>介護保険特別会計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(12)</td> <td>西北五広域福祉事務組合</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>(6)</td> <td>訪問看護ステーション特別会計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(13)</td> <td>青森県交通災害共済組合</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(14)</td> <td>鯉ヶ沢地区消防事務組合</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(15)</td> <td>つがる西北五広域連合(一般会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(16)</td> <td>つがる西北五広域連合(病院事業会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(17)</td> <td>青森県後期高齢者医療広域連合(一般会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(18)</td> <td>青森県後期高齢者医療広域連合(後期高齢者医療特別会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>														一般会計等の一覧	事業会計の一覧	公営企業(法適)の一覧	公営企業(法非適)の一覧	関係する一部事務組合等一覧	地方公社・第三セクター等一覧	項番	会計名	項番	会計名	項番	組合等名	項番	団体名						(※3)	(1)	一般会計	(2)	国民健康保険事業特別会計(事業勘定)	(7)	水道事業会計	(8)	下水道事業特別会計	(9)	青森県市町村総合事務組合	(19)	株式会社ふかうら開発		○			(3)	国民健康保険事業特別会計(直診勘定)					(10)	青森県市町村職員退職手当組合	(20)	しらかみ十二湖株式会社		○			(4)	後期高齢者医療特別会計					(11)	西海岸衛生処理組合	(21)	一般財団法人深浦町食産業振興公社					(5)	介護保険特別会計					(12)	西北五広域福祉事務組合							(6)	訪問看護ステーション特別会計					(13)	青森県交通災害共済組合													(14)	鯉ヶ沢地区消防事務組合													(15)	つがる西北五広域連合(一般会計)													(16)	つがる西北五広域連合(病院事業会計)													(17)	青森県後期高齢者医療広域連合(一般会計)													(18)	青森県後期高齢者医療広域連合(後期高齢者医療特別会計)			
一般会計等の一覧	事業会計の一覧	公営企業(法適)の一覧	公営企業(法非適)の一覧	関係する一部事務組合等一覧	地方公社・第三セクター等一覧																																																																																																																																																																								
項番	会計名	項番	会計名	項番	組合等名	項番	団体名						(※3)																																																																																																																																																																
(1)	一般会計	(2)	国民健康保険事業特別会計(事業勘定)	(7)	水道事業会計	(8)	下水道事業特別会計	(9)	青森県市町村総合事務組合	(19)	株式会社ふかうら開発		○																																																																																																																																																																
		(3)	国民健康保険事業特別会計(直診勘定)					(10)	青森県市町村職員退職手当組合	(20)	しらかみ十二湖株式会社		○																																																																																																																																																																
		(4)	後期高齢者医療特別会計					(11)	西海岸衛生処理組合	(21)	一般財団法人深浦町食産業振興公社																																																																																																																																																																		
		(5)	介護保険特別会計					(12)	西北五広域福祉事務組合																																																																																																																																																																				
		(6)	訪問看護ステーション特別会計					(13)	青森県交通災害共済組合																																																																																																																																																																				
								(14)	鯉ヶ沢地区消防事務組合																																																																																																																																																																				
								(15)	つがる西北五広域連合(一般会計)																																																																																																																																																																				
								(16)	つがる西北五広域連合(病院事業会計)																																																																																																																																																																				
								(17)	青森県後期高齢者医療広域連合(一般会計)																																																																																																																																																																				
								(18)	青森県後期高齢者医療広域連合(後期高齢者医療特別会計)																																																																																																																																																																				

(注釈) ※1: 経常収支比率の()内の数値は、令和元年度は「減収補償(特例分)」及び「臨時財政対策債」を、令和2年度は「減収補償(特例分)」 「猶予特例債」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
 ※2: 各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。
 ※3: 地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。
 ※4: 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。
 ※5: 産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。
 ※6: 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「1人あたり給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている)。
 ※7: 人口については、調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

(1) 普通会計の状況(市町村)

歳入の状況(単位:千円・%)				地方税の状況(単位:千円・%)				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分
地方税	685,966	8.3	685,966	15.5	普通税	679,792	99.1	-
地方譲与税	59,151	0.7	59,151	1.3	法定普通税	679,792	99.1	-
利子割交付金	361	0.0	361	0.0	市町村民税	197,146	28.7	-
配当割交付金	759	0.0	759	0.0	個人均等割	10,810	1.6	-
株式等譲渡所得割交付金	886	0.0	886	0.0	所得割	165,154	24.1	-
分離課税所得割交付金	-	-	-	-	法人均等割	13,827	2.0	-
地方消費税交付金	177,086	2.1	177,086	4.0	法人税割	7,355	1.1	-
ゴルフ場利用税交付金	-	-	-	-	固定資産税	409,227	59.7	-
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	うち純固定資産税	349,608	51.0	-
自動車取得税交付金	1	0.0	1	0.0	軽自動車税	26,521	3.9	-
軽油引取税交付金	-	-	-	-	市町村たばこ税	46,898	6.8	-
自動車税環境性能割交付金	3,218	0.0	3,218	0.1	釧産税	-	-	-
法人事業税交付金	1,890	0.0	1,890	0.0	特別土地保有税	-	-	-
地方特例交付金	3,503	0.0	3,503	0.1	法定外普通税	-	-	-
個人住民税減収補填特例交付金	1,316	0.0	1,316	0.0	目的税	6,174	0.9	-
自動車税減収補填特例交付金	1,353	0.0	1,353	0.0	法定目的税	6,174	0.9	-
軽自動車税減収補填特例交付金	834	0.0	834	0.0	入湯税	6,174	0.9	-
地方交付税	3,906,581	47.3	3,480,104	78.6	事業所税	-	-	-
普通交付税	3,480,104	42.1	3,480,104	78.6	都市計画税	-	-	-
特別交付税	426,477	5.2	-	-	水利地益税等	-	-	-
震災復興特別交付税	-	-	-	-	法定外目的税	-	-	-
(一般財源計)	4,839,402	58.6	4,412,925	99.7	旧法による税	-	-	-
交通安全対策特別交付金	905	0.0	905	0.0	合計	685,966	100.0	-
分担金・負担金	7,298	0.1	-	-				
使用料	8,061	0.1	4,824	0.1				
手数料	10,819	0.1	-	-				
国庫支出金	1,606,637	19.5	-	-				
国有提供交付金(特別区財調交付金)	-	-	-	-				
都道府県支出金	547,672	6.6	-	-				
財産収入	11,587	0.1	8,412	0.2				
寄附金	36,582	0.4	-	-				
繰入金	86,375	1.0	-	-				
繰越金	48,762	0.6	-	-				
諸収入	121,392	1.5	10	0.0				
地方債	931,900	11.3	-	-				
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-				
うち猶予特例債	-	-	-	-				
うち臨時財政対策債	118,400	1.4	-	-				
歳入合計	8,257,392	100.0	4,427,076	100.0				

(注釈)

普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

歳出の状況(単位:千円・%)				
目的別歳出の状況(単位:千円・%)				
区分	決算額(A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等
議会費	79,997	1.0	-	74,797
総務費	1,929,876	23.7	60,149	1,019,360
民生費	1,494,617	18.4	3,399	857,911
衛生費	695,690	8.6	5,114	630,385
労働費	8,083	0.1	-	8,083
農林水産業費	622,870	7.7	220,502	237,988
商工費	330,163	4.1	10,538	298,001
土木費	653,335	8.0	270,472	380,968
消防費	863,178	10.6	379,535	483,245
教育費	512,002	6.3	78,491	329,604
災害復旧費	1,820	0.0	-	1,120
公債費	942,185	11.6	-	937,330
諸支出金	-	-	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-
歳出合計	8,133,816	100.0	1,028,200	5,258,792

性質別歳出の状況(単位:千円・%)					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	2,688,088	33.0	2,163,182	2,041,526	44.9
人件費	1,066,424	13.1	1,035,510	915,654	20.1
うち職員給	600,925	7.4	596,889	-	-
扶助費	679,479	8.4	190,342	188,542	4.1
公債費	942,185	11.6	937,330	937,330	20.6
元利償還金	941,410	11.6	936,555	936,555	20.6
内 うち元金	912,434	11.2	907,583	907,583	20.0
内 うち利子	28,976	0.4	28,972	28,972	0.6
一時借入金利子	775	0.0	775	775	0.0
その他の経費	4,415,708	54.3	3,019,733	2,353,148	51.8
物件費	1,043,025	12.8	769,179	543,562	12.0
維持補修費	185,856	2.3	168,280	157,310	3.5
補助費等	2,118,941	26.1	1,153,720	1,044,484	23.0
うち一部事務組合負担金	652,110	8.0	652,110	652,110	14.3
繰出金	831,613	10.2	699,484	607,792	13.4
積立金	230,627	2.8	227,787	-	-
投資・出資金・貸付金	5,646	0.1	1,283	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	1,030,020	12.7	75,877	-	-
うち人件費	6,089	0.1	6,089	-	-
普通建設事業費	1,028,200	12.6	74,757	-	-
うち補助	366,763	4.5	3,478	-	-
うち単独	567,448	7.0	65,890	-	-
災害復旧事業費	1,820	0.0	1,120	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	8,133,816	100.0	5,258,792	-	-

(2) 各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

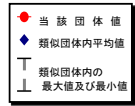
令和2年度 青森県深浦町

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

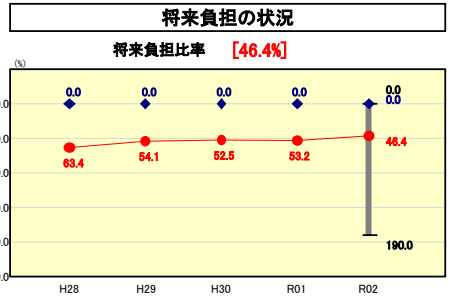
会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1 一般会計	8,257	8,134	124	89	77	8,344	
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							
47							
48							
49							
50							
51							
52							
53							
54							
55							
56							
57							
58							
59							
60							
61							
62							
63							
64							
65							
66							
67							
68							
69							
70							
71							
72							
73							
74							
75							
76							
77							
78							
79							
80							
81							
82							
83							
84							
85							
86							
87							
88							
89							
90							
91							
92							
93							
94							
95							
96							
97							
98							
99							
100							
101							
102							
103							
104							
105							
106							
107							
108							
109							
110							
111							
112							
113							
114							
115							
116							
117							
118							
119							
120							
121							
122							
123							
124							
125							
126							
127							
128							
129							
130							
131							
132							
133							
134							
135							
136							
137							
138							
139							
140							
141							
142							
143							
144							
145							
146							
147							
148							
149							
150							
151							
152							
153							
154							
155							
156							
157							
158							
159							
160							
161							
162							
163							
164							
165							
166							
167							
168							
169							
170							
171							
172							
173							
174							
175							
176							
177							
178							
179							
180							
181							
182							
183							
184							
185							
186							
187							
188							
189							
190							
191							
192							
193							
194							
195							
196							
197							
198							
199							
200							
201							
202							
203							
204							
205							
206							
207							
208							
209							
210							
211							
212							
213							
214							
215							
216							
217							
218							
219							
220							
221							
222							
223							
224							
225							
226							
227							
228							
229							
230							
231							
232							
233							
234							
235							
236							
237							
238							
239							
240							
241							
242							
243							
244							
245							
246							
247							
248							
249							
250							
251							
252							
253							
254							
255							
256							
257							
258							
259							
260							
261							
262							
263							
264							
265							
266							
267							
268							
269							
270							
271							
272							
273							
274							
275							
276							
277							
278							
279							
280							
281							
282							
283							
284							
285							
286							
287							
288							
289							
290							
291							
292							
293							
294							
295							
296							
297							
298							

(3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

人口	7,787	人(R3.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	7,766	人(R3.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	488.90	km ²	実質公債費比率	10.8	%
歳入総額	8,257,392	千円	将来負担比率	46.4	%
歳出総額	8,133,816	千円	市町村類型	H28 II-O H29 II-O H30 II-O H30 II-O	
実質収支	88,789	千円	(年度毎)	R01 II-O R02 II-O	
標準財政規模	4,530,695	千円			
地方債現在高	8,344,150	千円			



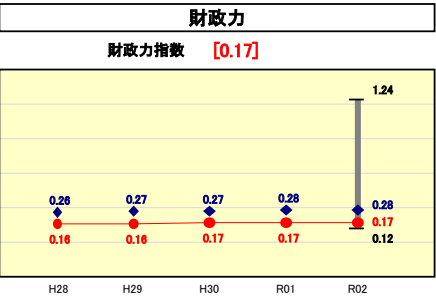
※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※令和3年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。
 ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。
 ※人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和2年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



類似団体内順位 71/89 全国平均 24.9 青森県平均 64.2

将来負担比率の分析欄

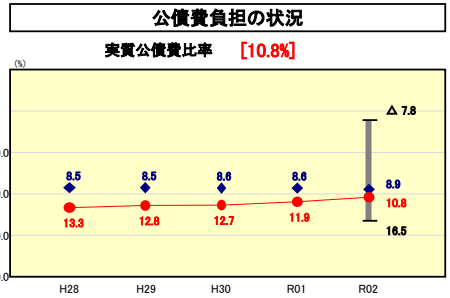
将来負担比率は早期健全化基準（350%）を下回っており、緩やかな改善傾向にはあるものの、類似団体内平均値及び全国平均と比較すると依然として高い将来負担となっている。
 主な要因は一般会計等の地方債残高が多額なことであるが、プライマリーバランスの大幅な黒字化と繰上償還の実施により、その残高は年々減少を続けている。
 さらなる改善に向けて、プライマリーバランスの黒字堅持と積極的な基金積立てをし、町債の繰上償還も随時検討する。



類似団体内順位 77/89 全国平均 0.51 青森県平均 0.35

財政力指数の分析欄

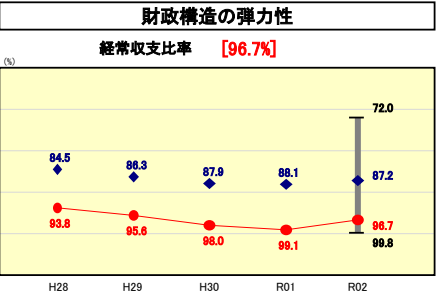
人口減少や住民の高齢化、産業基盤の脆弱であることなどが要因となり、町税収は長らく低い水準で停滞し、類似団体と比較して極めて低い財政力となっている。
 6次産業の創出を町に町内産業の活性化を図るとともに、税の徴収率向上にも努め、長期的・計画的な財政基盤の強化に取り組む。



類似団体内順位 65/89 全国平均 5.7 青森県平均 10.6

実質公債費比率の分析欄

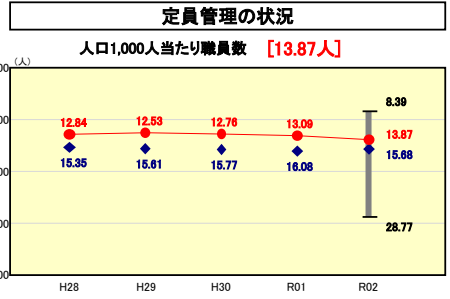
実質公債費比率は早期健全化基準（25%）や起債許可基準（18%）を下回っており、年々改善傾向にはあるものの、類似団体内平均値及び全国平均と比較すると高い公債費負担となっている。
 主な要因は一般会計等の元利償還金が多額なことであるが、町債の新規発行抑制や繰上償還などの公債費対策により、その元利償還金は年々減少を続けている。一方で、公営企業や組合等の元利償還金が増加傾向にあるが、総体的には公債費負担が年々着実に軽減されている。
 今後も多額の起債発行には慎重な検討を行い、交付税措置の有利な起債を優先するなど将来的な公債費負担の圧縮に努める。



類似団体内順位 86/89 全国平均 93.1 青森県平均 92.4

経常収支比率の分析欄

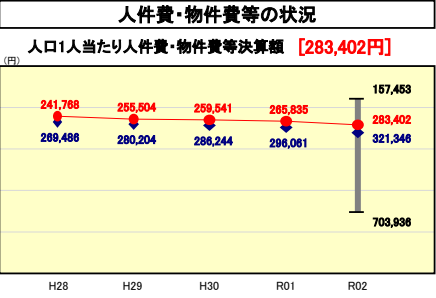
令和2年度については継続的な経費圧縮や交付税等の増により、経常収支比率が2.4ポイント改善されたものの、今後は令和2年度国勢調査に基づく人口減等の影響により、経常一般財源の大部分を占める普通交付税の額が減少し、年々比率が悪化していくことと見込まれており、急激な収支等の増も見込めないため、経常経費の削減が当面の課題となる。
 主な取り組みとしては、人件費、物件費、補助費等の歳出削減に引き続き取り組みに加え、真に必要な建設事業を峻別して実施するなど、公債費負担の抑制に向けた取り組みを行い、経常収支比率の改善に努める。



類似団体内順位 35/89 全国平均 8.16 青森県平均 7.15

人口1,000人当たり職員数の分析欄

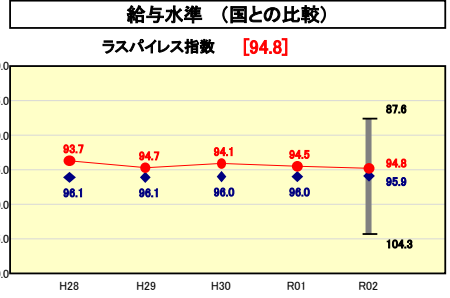
平成17年度末の町村合併により一時的に職員数が増加したが、深浦町定員適正化計画等に基づき、退職者不補充や採用者数の抑制といった職員数の削減策、事務事業の見直し、民間委託等の推進など、人件費の抑制を図る取り組みを行い、類似団体を下回る状況を維持している。
 今後も行政サービスの低下につながらないよう必要最低限の職員数を確保しつつ、組織構造の改善や職員の資質向上・能力開発に資する取り組みを行い、効率的・効果的な執行体制の維持に努めていく。



類似団体内順位 28/89 全国平均 145,817 青森県平均 147,041

人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄

定員適正化計画に基づく職員数の削減や、物件費などの事務的経費の節減等により、類似団体平均をわずかに下回っている。
 今後も定員適正化を積極的に進めるとともに、行政改革大綱等に基づく物件費・維持補修費の経費削減に努める。



類似団体内順位 26/89 全国市平均 98.8 全国町村平均 96.3

ラスパイレ指数の分析欄

従来からの給与体系により類似団体平均を下回るラスパイレ指数となっている。
 今後は、人事評価による昇給や中級採用の導入による数値の上昇が見込まれているが、地方交付税の減少などの財政運営上の課題に対応できるよう適切な定員管理を進めるとともに、給与水準の適正化に努める。

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

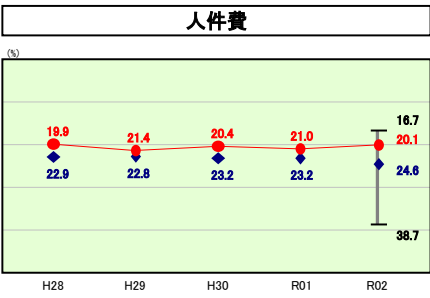
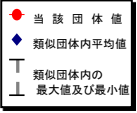
令和2年度

青森県深浦町

経常収支比率の分析

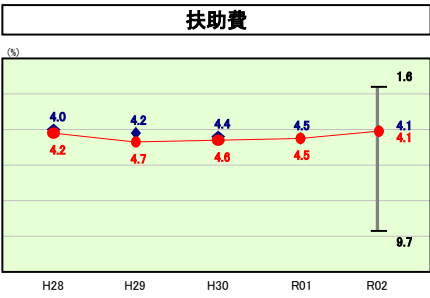
人口	7,787	人(R3.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	7,766	人(R3.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	488.90	km ²	実質公債費比率	10.8	%
歳入総額	8,257,392	千円	将来負担比率	46.4	%
歳出総額	8,133,816	千円			
実質収支	88,789	千円	市町村類型	H28 II-O H29 II-O H30 II-O	
標準財政規模	4,530,695	千円	(年度毎)	R01 II-O R02 II-O	
地方債現在高	8,344,150	千円			

※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和2年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



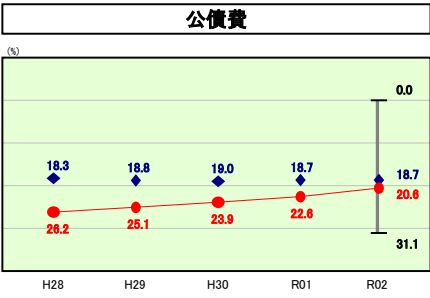
人件費の分析欄

定員適正化計画等に基づき職員数の削減を進めた結果、昨年より0.9ポイント減少し、類似団体平均を4.5ポイント下回るなど低い水準を維持している。
 今後も、固定経費として将来に渡り負担を伴う人件費の更なる削減に向けて、組織構造の改善や職員の資質向上・能力開発に資する取り組みを積極的に行うことにより、効率的・効果的な執行体制にシフトしていく方針である。



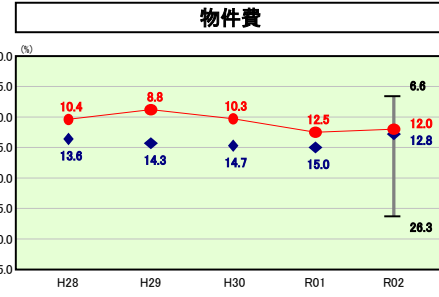
扶助費の分析欄

類似団体平均と同程度の比率を維持している。
 義務的性格の弱い町単独扶助費の見直しや各種手当の算定方法・資格審査等の適正化を行い、扶助費による財政圧迫の食い止めを図る必要がある。



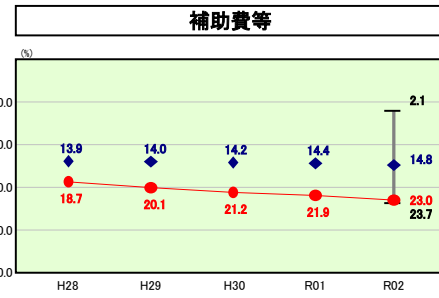
公債費の分析欄

過去に実施した大型建設事業に伴う町債発行により、公債費に係る経常収支比率は類似団体と比較して高い状態が続いているものの、計画的な償還と町債の発行抑制により、比率は徐々に改善しており、前年度比で2.0ポイント減少、類似団体平均との差も3.9ポイントから1.9ポイントまで縮まった。
 今後においても、公債費対策を優先課題と位置付け、プライマリーバランスの黒字を堅持するために建設事業を峻別して実施するなど、公債費負担の軽減に取り組んでいく。



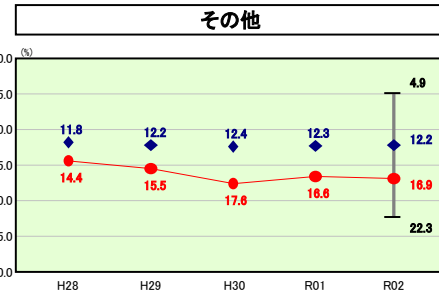
物件費の分析欄

前年度から0.5ポイント減少し、類似団体平均を下回っているものの、その差は年々縮小傾向にある。
 今後においては事務的経費の削減や各種委託業務の職員対応などにより、事務事業の整理や組織の合理化を進め、より一層の物件費の削減に努める。



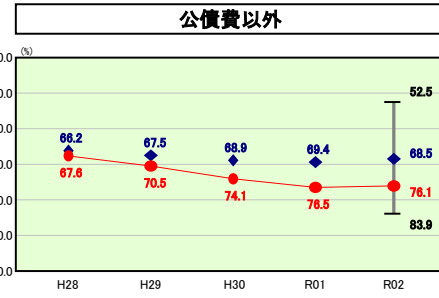
補助費等の分析欄

鯉ヶ沢地区消防事務組合やつがる西北五広域連合などの一部事務組合に対する負担が大きいために要因となり、類似団体平均を大きく上回る状況が続いている。
 今後は町単独補助金を中心に対象事業の必要性を十分検討し、同種事業の整理統合を行うなどしながら補助金の削減に努めていく。



その他の分析欄

道路、観光施設に係る維持補修費や国保事業勘定特別会計等に対する繰入金が高止まりしていることが要因となり、類似団体より高い状況となっている。
 普通交付税等の一般財源が今後確実に減少していくことを踏まえ、公共施設マネジメントの推進や国民健康保険料の適正化を行うなど、持続可能な歳出構造の確立に向けた取り組みを行い、経費削減を図っていく。



公債費以外の分析欄

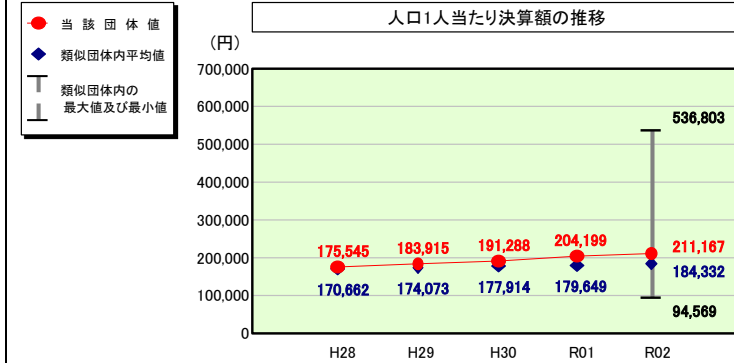
公債費以外の経常収支比率については、維持補修費や繰入金が高止まりしていることに加え、補助費等の増加が要因となり、類似団体と比較して比率が高いものの、人件費の抑制等の効果もあり、令和2年度は前年度比で0.4ポイント減少した。
 公債費の削減と併せて、公債費以外の経常経費についても削減を継続し、比率改善に努める。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

令和2年度

青森県深浦町

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



人件費及び人件費に準ずる費用

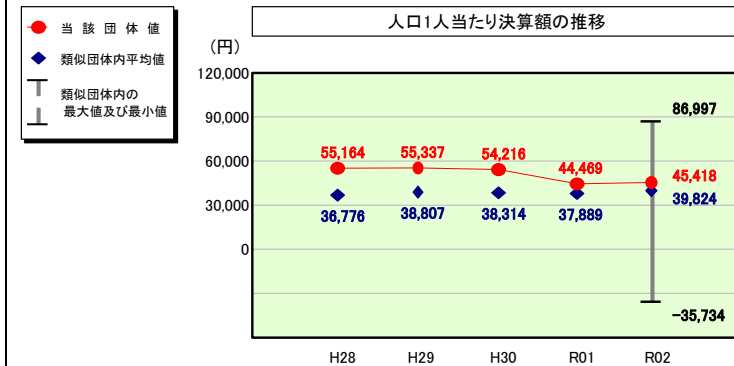
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
人件費	1,066,424	136,949	156,065	▲ 12.2
一部事務組合負担金(補助費等)	460,499	59,137	24,089	▲ 145.5
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	6,557	842	3,903	▲ 78.4
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	-	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	199,338	25,599	6,134	▲ 317.3
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	6,089	782	6,841	▲ 88.6
▲退職金	▲ 94,546	▲ 12,142	▲ 12,699	▲ 4.4
合計	1,644,361	211,167	184,332	14.6

参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	13.87	15.68	▲ 1.81
ラスパイレス指数	94.8	95.9	▲ 1.1

(注) 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

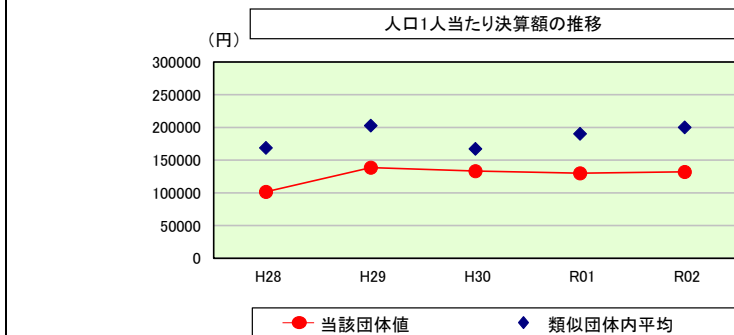


公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	941,410	120,895	108,331	11.6
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	132	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	205	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	289,379	37,162	22,911	62.2
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	28,360	3,642	3,832	▲ 5.0
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	238	31	1,000	▲ 96.9
一時借入金利息 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	775	100	21	376.2
▲特定財源の額	▲ 4,855	▲ 623	▲ 5,292	▲ 88.2
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 901,635	▲ 115,787	▲ 91,315	26.8
合計	353,672	45,418	39,824	14.0

※令和3年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H28	886,902	101,662	13.0	168,868	4.1	8.9
うち単独分	520,885	59,707	70.2	79,360	▲ 0.8	71.0
H29	1,172,935	138,596	36.3	202,870	20.1	16.2
うち単独分	698,737	82,564	38.3	79,735	0.5	37.8
H30	1,097,589	133,397	▲ 3.8	167,497	▲ 17.4	13.6
うち単独分	558,071	67,826	▲ 17.9	82,571	3.6	▲ 21.5
R01	1,042,289	129,977	▲ 2.6	190,274	13.6	16.2
うち単独分	378,362	47,183	▲ 30.4	88,584	7.3	▲ 37.7
R02	1,028,200	132,041	1.6	200,194	5.2	▲ 3.6
うち単独分	567,448	72,871	54.4	106,422	20.1	34.3
過去5年間平均	1,045,583	127,135	8.9	185,941	5.1	3.8
うち単独分	544,701	66,030	22.9	87,334	6.1	16.8

(5)市町村性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

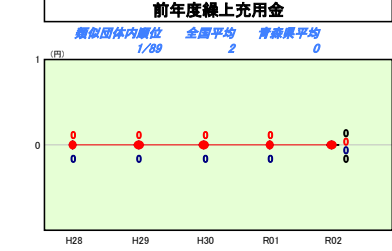
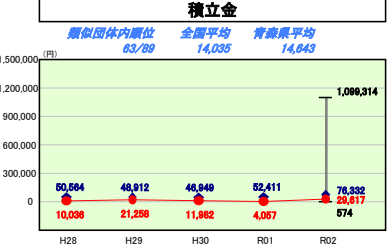
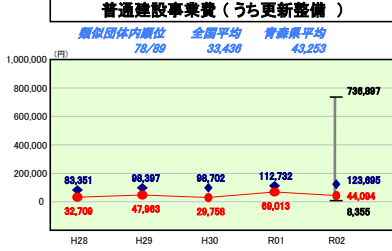
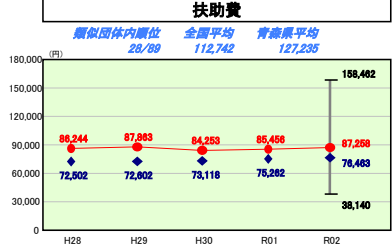
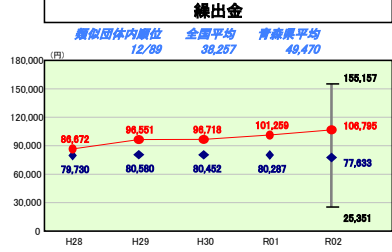
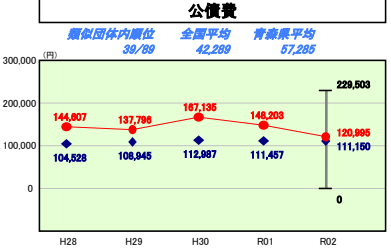
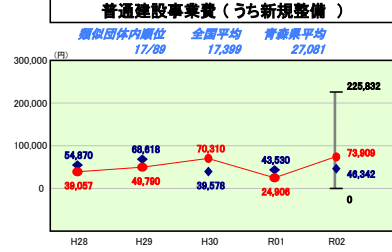
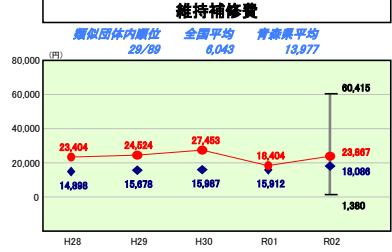
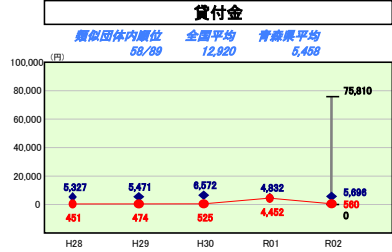
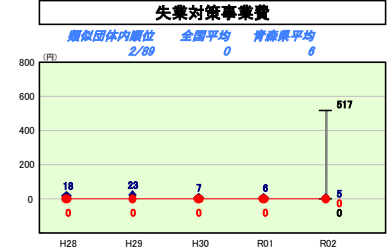
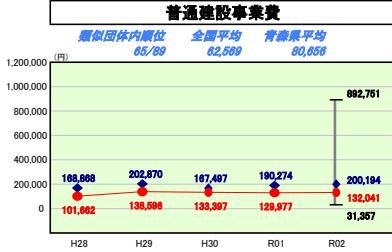
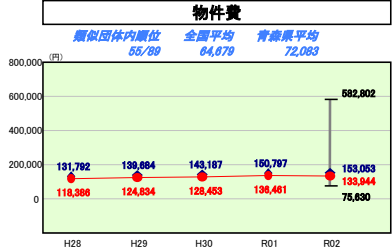
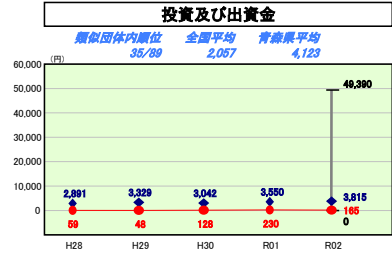
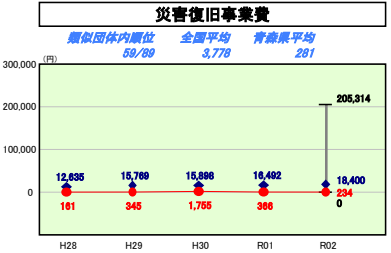
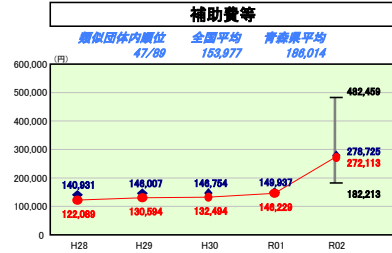
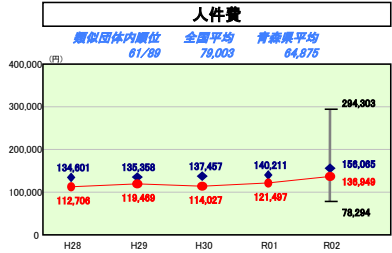
令和2年度

青森県深浦町

人口	7,787人(03.1.1現在)	実赤字比率	-%
うち日本人	7,766人(03.1.1現在)	通算実赤字比率	-%
面積	488.90k㎡	実公債費比率	10.8%
歳入総額	8,257,392千円	将来負担比率	46.4%
歳出総額	8,133,816千円	市町村類型	H28 II-O H29 II-O H30 II-O
実収支	88,789千円	(年度毎)	R01 II-O R02 II-O
標準財政規模	4,530,695千円		
地方債現在高	8,344,150千円		

● 当該団体値
◆ 類似団体内平均値
T 類似団体内の最大値及び最小値

※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和2年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



性質別歳出の分析値

- 令和2年度の歳出総額は8,133,816千円となっており、住民一人当たりのコストは1,044,538円となっている。
- 歳出項目別に見ると、公債費、扶助費、維持補修費、繰出金において、類似団体平均より高くなっている。
- 公債費の住民一人当たりコストは120,995円(構成比11.6%)となっており、計画的な償還と財源の新規発行の抑制もあり、前年度から27,200円減少したものの、依然として類似団体との比較では9,845円(8.9%)高い状況となっている。今後も公債費対策を優先課題と位置付け、地理的にインフラ投資が乏しい深浦町固有のハンディキャップを反映した将来コストの試算を的確に行った上で、起債を伴う新たな建設事業の実施検討を十分に払い、公債費負担の軽減・抑制を図っていく。
- 扶助費の住民一人当たりコストは87,258円(構成比8.4%)となっており、保育・幼児教育に係る施設型給付費等多額であることが要因となり、類似団体と比較して10,795円(14.1%)高い状況となっている。今後も政策的に人口減少対策に向けて子育て支援の充実を図っていくことから、児童福祉費を中心に扶助費が増加することが見込まれる。
- 維持補修費の住民一人当たりコストは23,867円(構成比2.3%)となっており、道路補修費や町有施設の老朽化対応費が高まっていることが要因となり、類似団体と比較して5,781円(32.0%)高い状況となっている。今後は深浦町公共施設等総合管理計画に基づき、持続可能な公共施設管理運営を行い、維持補修費の圧縮に努める。

(6)市町村目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

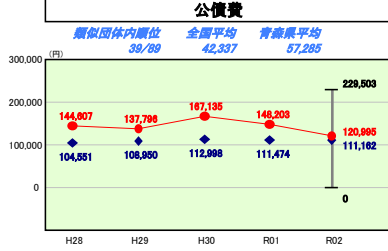
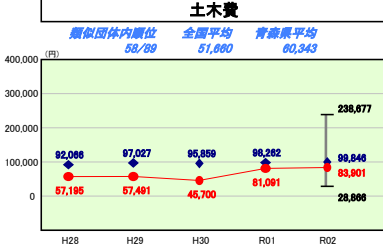
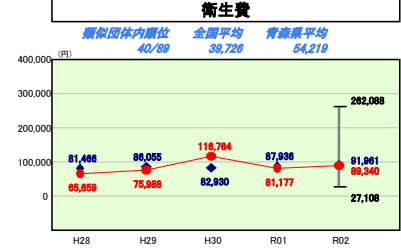
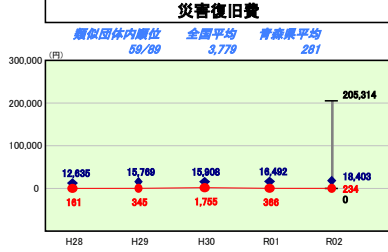
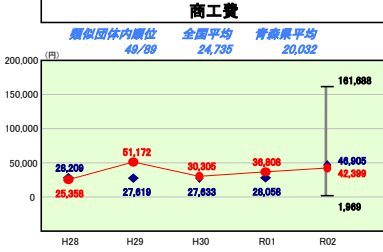
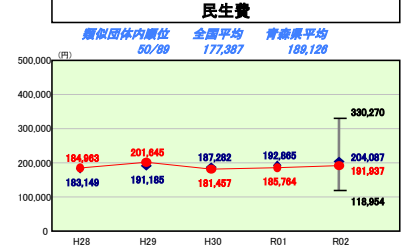
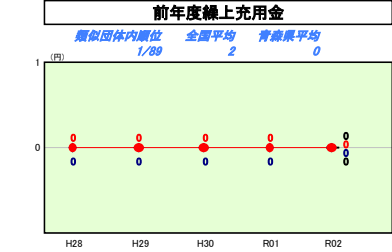
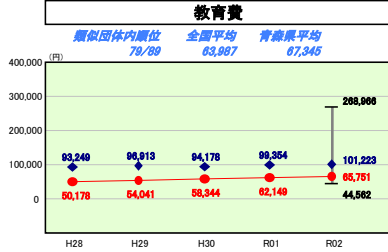
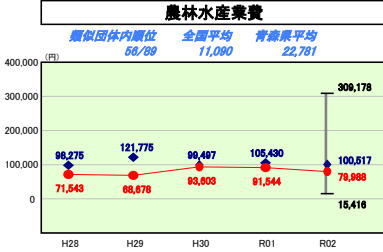
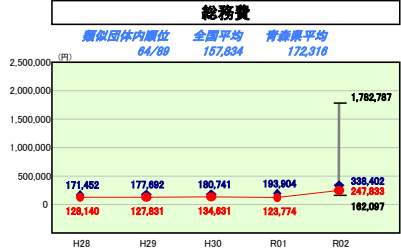
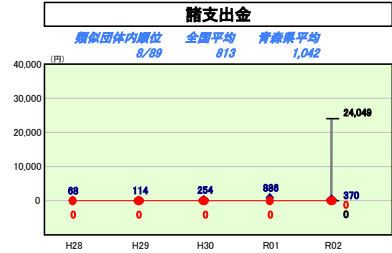
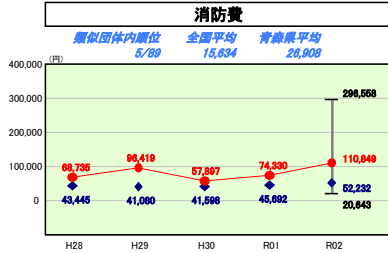
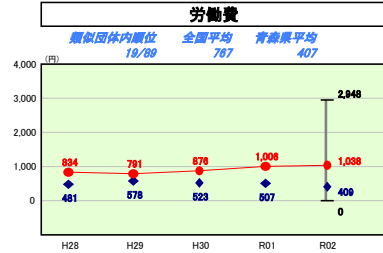
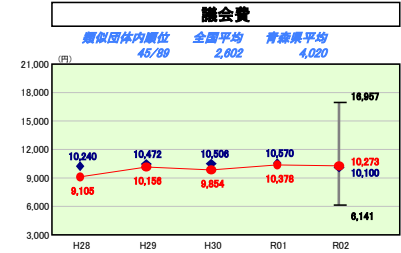
令和2年度

青森県深浦町

人口	7,787人(03.1.1現在)	実収赤字比率	-	%
うち日本人	7,766人(03.1.1現在)	繰上実収赤字比率	-	%
面積	488.90k㎡	実収公債費比率	10.8	%
歳入総額	8,257,392千円	将来負担比率	46.4	%
歳出総額	8,133,816千円	市町村間選	H28 II-O H29 II-O H30 II-O	
実収収支	88,789千円	(年度毎)	R01 II-O R02 II-O	
標準財政規模	4,530,695千円			
地方債現在高	8,344,150千円			



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和2年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



目的別歳出の分析値

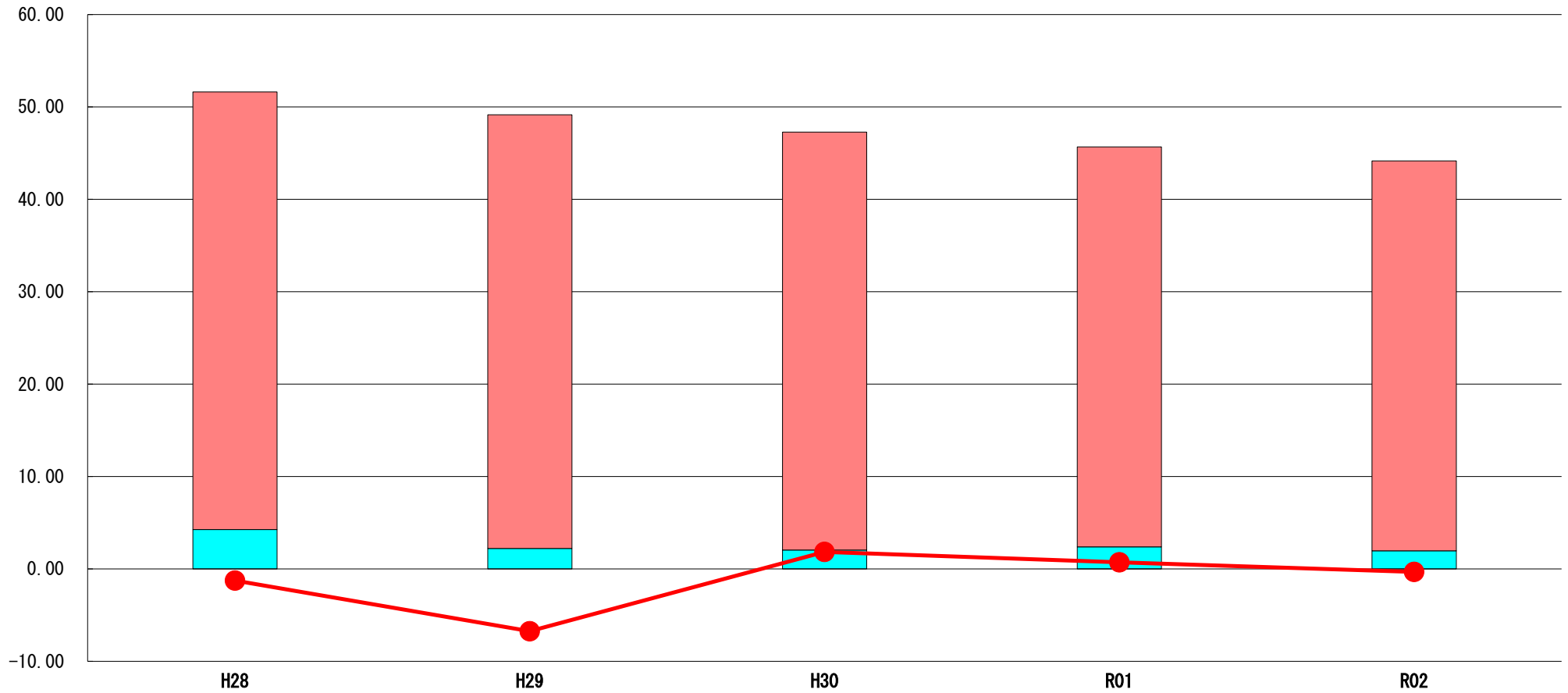
- 令和2年度の歳出総額は8,133,816千円となっており、住民一人当たりのコストは1,044,538円となっている。
- 構成項目別に見ると、議会費、労働費、消防費、公債費において、類似団体平均より高くなっている。
- 消防費の住民一人当たりコストは110,849円（構成比10.6%）となっており、鯉ヶ沢地区消防事務組合負担金や防災行政情報伝達システムをはじめとした防災施設整備費が多額であることが要因となり、類似団体と比較し58,617円（112.2%）高い状況となっている。平成27年度青森県地震・津波被害想定調査の結果を踏まえ、ソフト・ハード両面において、地震・津波災害に係る防災・減災対策を積極的に行っていく方針であることから、当面はコストの高まを推移することが見込まれる。
- 公債費については、性質別歳出決算分析表の分析欄と同様である。

(7) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）




令和2年度

青森県深浦町

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

区分	年度	H28	H29	H30	R01	R02
 財政調整基金残高		47.36	46.93	45.23	43.30	42.20
 実質収支額		4.26	2.22	2.05	2.38	1.96
 実質単年度収支		▲ 1.26	▲ 6.74	1.84	0.72	▲ 0.32

分析欄

令和2年度決算において、実質単年度収支は15百万円の赤字となっているが、地方交付税の増等により財政調整基金を取崩すことなく、実質収支は89百万円の黒字となった。

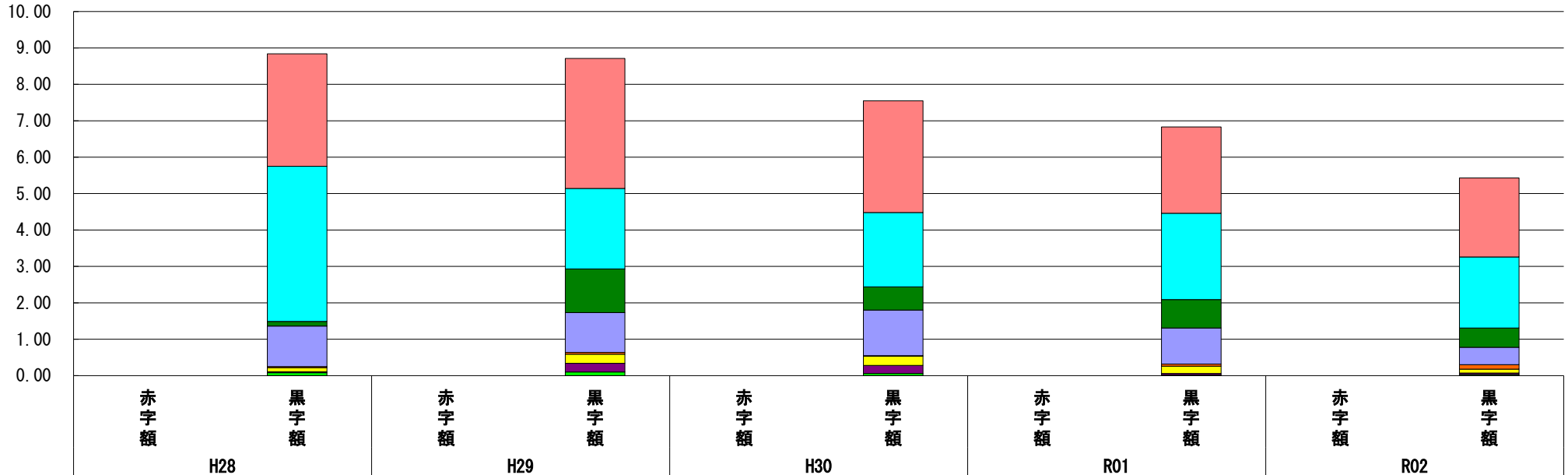
基金に依存しない財政運営を行うことが当面の課題となっており、そのためには、コンパクトで身の丈に合った歳出構造を構築し、限られた財源で最大の効果を上げる体制づくりを行っていくとともに、臨時的な財政需要に対応できるよう、基金残高の安定的な確保に努め、健全な財政運営を行っていくことが重要である。

(8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

令和2年度

青森県深浦町

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

会計	年度	H28	H29	H30	R01	R02
水道事業会計		3.09	3.57	3.07	2.37	2.17
一般会計		4.26	2.21	2.04	2.37	1.95
国民健康保険事業特別会計（事業勘定）		0.13	1.20	0.64	0.78	0.53
介護保険特別会計		1.11	1.09	1.25	0.99	0.48
下水道事業特別会計		0.03	0.05	0.02	0.06	0.12
国民健康保険事業特別会計（直診勘定）		0.11	0.25	0.25	0.20	0.11
後期高齢者医療特別会計		0.03	0.24	0.22	0.04	0.04
訪問看護ステーション特別会計		0.08	0.10	0.06	0.02	0.03
其他会計（赤字）		-	-	-	-	-
其他会計（黒字）		-	-	-	-	-

分析欄

令和2年度決算において連結実質赤字は発生しておらず、すべての会計において黒字を達成している。一般会計及び特別会計総額では実質収支150百万円の黒字決算となり、水道事業会計では資金剰余98百万円を計上している。

連結実質収支全体の主な割合を占める一般会計等では、平成19年度以降赤字は発生しておらず、毎年着実に一定の黒字を維持している。

国民健康保険事業特別会計（事業勘定・直診勘定）、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計、訪問看護ステーション特別会計においては、給付費の増加を見据え、保険料の適正化と併せて、一般会計からの適切な繰出しを行ってきた結果、現在まで赤字は発生していない。

下水道事業特別会計においては、繰出基準に基づく繰出金のほか、料金収入で賄えない汚水維持管理費の補てんを目的とした基準外繰出しを実施してきた結果、毎年わずかな黒字を計上している。

企業会計である水道事業会計において資金不足は生じておらず、平成29年度をピークに現金が減少しているものの、毎年度、一定額の資金剰余が生じている。

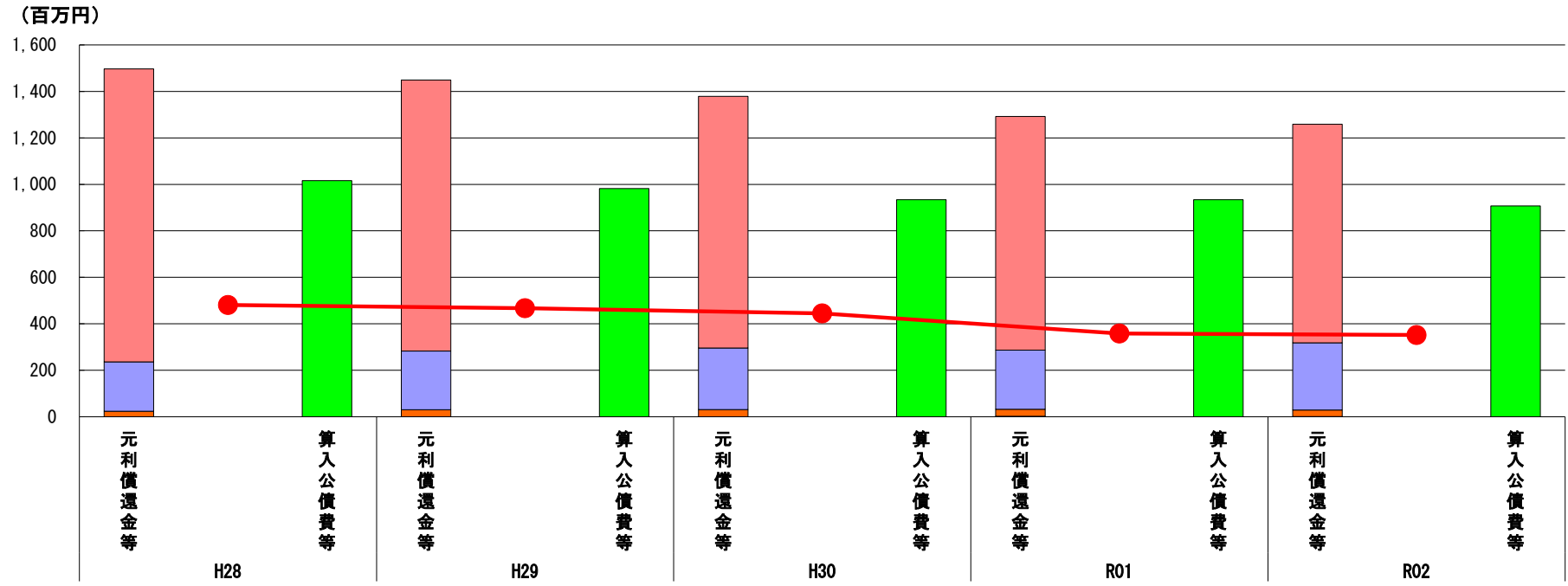
以上のとおり、全会計ともに黒字となっており、今後も各会計の黒字を堅持するため、従来からの行財政改革と併せて、公営事業では料金の適正化と一般会計からの適切な繰出しを継続し、健全な財政運営に努める。

※令和3年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(9) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

令和2年度

青森県深浦町



(百万円)

分子の構造		年度	H28	H29	H30	R01	R02
元利償還金等 (A)	元利償還金		1,261	1,166	1,083	1,005	941
	減債基金積立不足算定額※2		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		212	253	265	255	289
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		24	30	31	30	28
	債務負担行為に基づく支出額		0	0	0	0	0
	一時借入金の利子		0	0	0	2	1
算入公債費等 (B)	算入公債費等		1,016	982	934	934	907
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		481	467	445	358	352

分析欄

令和2年度決算における実質公債費比率は10.8%となり、平成19年度の算定開始以来年々減少している。分子の主要素である元利償還金は、町債の新規発行抑制や繰上償還などの公債費対策により、年々減少している。また、元利償還金の減少に伴い、算入公債費等も緩やかに減少しているが、分子全体としての公債費負担は年々着実に軽減されている。公営企業債の元利償還金に対する繰入金は、水道事業会計の建設事業が予定されていることから、今後増加することが見込まれる。組合等の元利償還金に対する負担金等は、当面の間は微減で推移していくが、今後予定している清掃施設の大規模改修以降は大幅に増加する見込みである。

※1 令和3年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考)

(百万円)

※2 減債基金積立状況等		年度	H27末	H28末	H29末	H30末	R01末
減債基金残高(注)	減債基金残高(注)						
	減債基金積立相当額						

分析欄

該当なし

(注) 減債基金残高のうち、実質公債費比率の算定に用いる満期一括償還地方債の償還の財源として積み立てた額に係るもののみを記入。

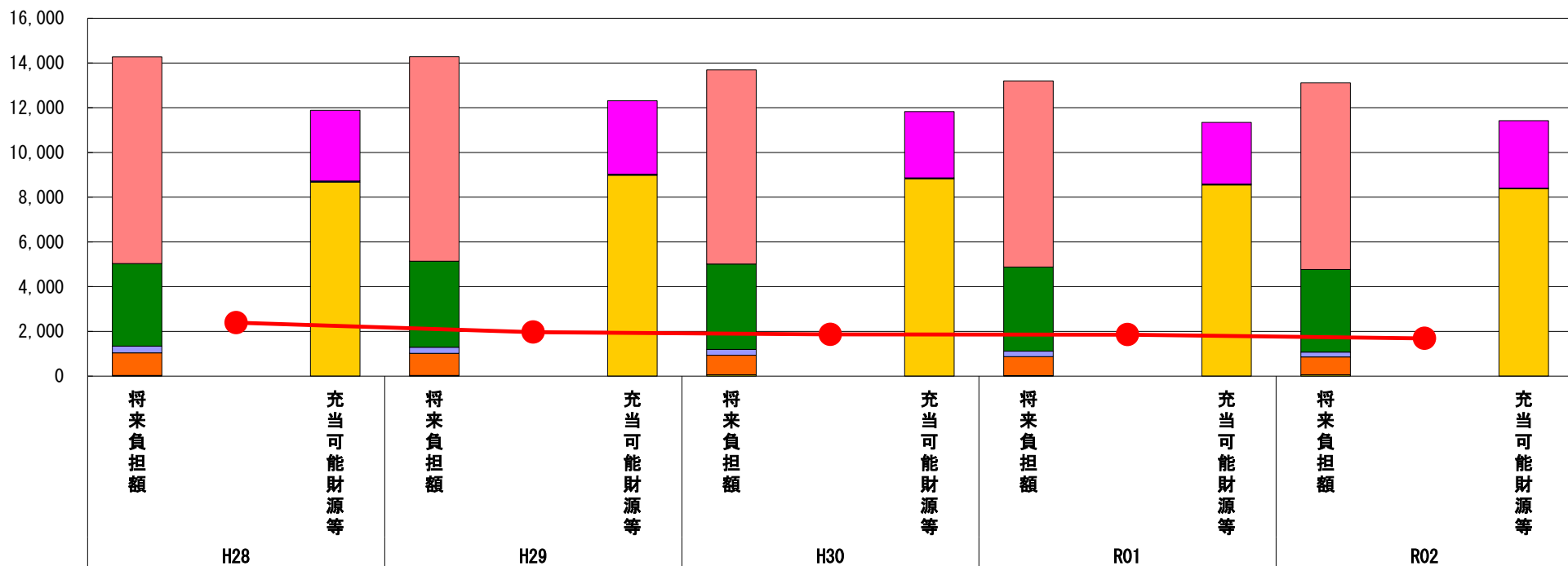
減債基金積立金の年度を超えた一般会計又は特別会計への貸付額は控除して記入。

(10) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

令和2年度

青森県深浦町

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H28	H29	H30	R01	R02
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		9,243	9,143	8,679	8,325	8,344
	債務負担行為に基づく支出予定額		-	-	-	-	-
	公営企業債等繰入見込額		3,691	3,843	3,823	3,756	3,688
	組合等負担等見込額		302	275	254	245	222
	退職手当負担見込額		1,006	989	881	854	797
	設立法人等の負債額等負担見込額		32	28	57	21	59
	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
	充当可能基金		3,161	3,288	2,965	2,762	3,019
	充当可能特定歳入		46	43	38	33	29
(A) - (B)	将来負担比率の分子		2,390	1,967	1,865	1,854	1,686

分析欄

令和2年度決算における将来負担比率は46.4%となり、算定分母である標準財政規模及び分子の充当可能基金の増が主要因となり、令和元年度と比較して9.8%減少している。

分子の主要素である一般会計等の地方債現在高が19百万円増加しているが、過年度における町債の新規発行抑制や繰上償還などの公債費対策により微増に抑えられている。なお、充当可能財源の標準財政需要額繰入見込額が減少傾向にあるが、全体的な将来負担（比率の分子部分）は年々着実に軽減されている。

その他の将来負担見込みについては、当面の間、緩やかな減少を見込んでいるが、今後、起債を伴う水道事業会計の建設事業や、一部事務組合が実施する大規模改修事業を予定しており、事業実施後は公営企業及び組合に係る将来負担の増が見込まれている。

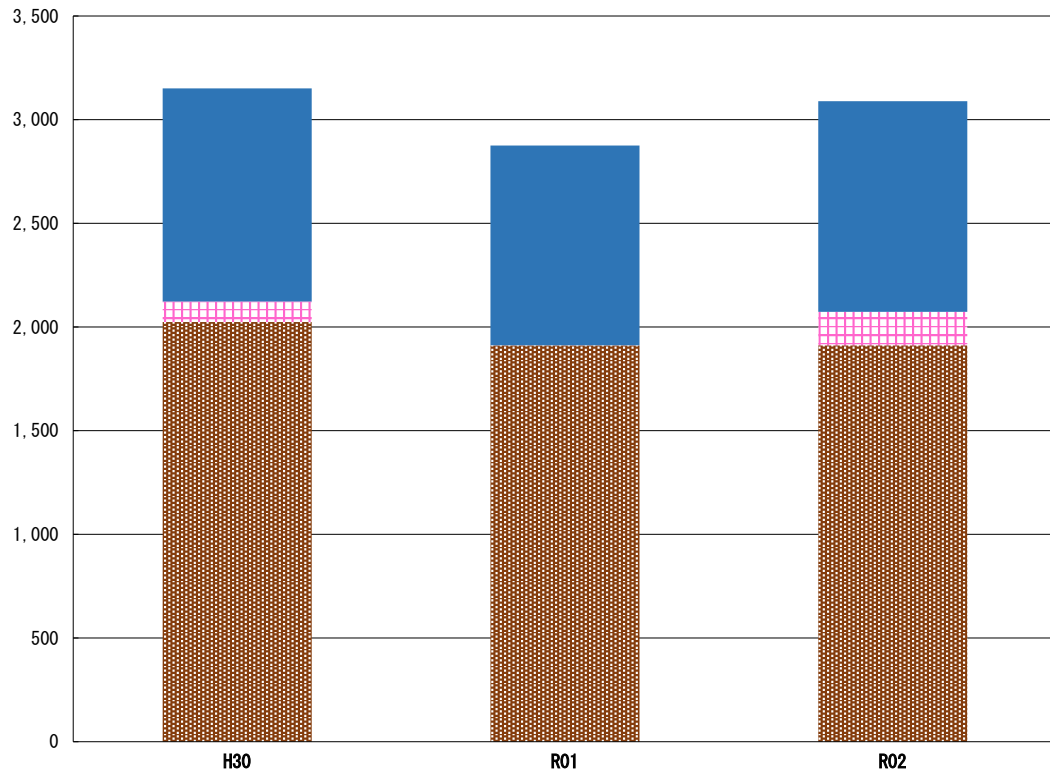
充当可能財源である充当可能基金については、257百万円の増となったが、今後も基金残高を安定的に確保していくことが重要である。

今後においても将来負担を軽減するため、起債の着実な償還と併せて、行財政改革を推進し、健全な財政運営を

※令和3年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(11) 基金残高（東日本大震災分を含む）に係る経年分析（市町村）

(百万円)



(百万円)

区分	年度	H30	R01	R02
その他特定目的基金	合併振興基金	561	521	477
	深浦町公共施設等総合管理基金	290	262	322
	深浦町地域医療対策基金	100	100	100
	深浦町ふるさと納税寄附金基金	51	49	70
	霊園整備基金	20	20	20
	基金残高合計	3,151	2,875	3,089

令和2年度

青森県深浦町

基金全体

(増減理由)

・減債基金に令和元年度決算剰余金60百万円を含む160百万円の積立てや、公共施設の維持補修費等に係る将来的な財政需要の備えとして、公共施設等総合管理基金に90百万円の積立てを行った。一方で、合併振興事業の財源として合併振興基金44百万円の取崩しや、公共施設等総合管理基金30百万円の取崩し等も実施したが、基金全体としては214百万円の増となった。

(今後の方針)

・財政調整基金については、積極的な歳出改革による取崩しの抑制を行うことが必要である。また、将来的には、災害等の備えとして、一定規模以上の基金残高を維持できるよう努めることとしている。

財政調整基金

(増減理由)

・財政調整基金積立運用利子による1百万円の増。

(今後の方針)

・平成17年度の町村合併以降は、決算状況を踏まえ、災害や合併算定替の適用期限終了への備えとして、可能な範囲で財政調整基金の積立てを行ってきたが、平成28年度以降は、普通交付税額の減少を主要因とした取り崩しを何度か実施しており、令和2年度はなかったものの、当面の間継続する予定である。

減債基金

(増減理由)

・令和元年度の決算剰余金60百万円を含む160百万円を積立てたことによる増。

(今後の方針)

・令和2年度決算における実質公債費比率は早期健全化基準を下回る10.8%となっているが、経常収支比率においては、公債費分が20.6%となっており、類似団体の18.7%と比較するとやや高い水準である。決算状況を踏まえ、必要に応じて、積立てを行う予定である。

その他特定目的基金

(基金の使途)

・合併振興基金：合併に伴う地域の進行及び住民の一体感醸成を推進する事業の財源に充てる。
 ・公共施設等総合管理基金：公共施設等を総合的に管理するために要する経費（整備、維持補修、解体処分等）の財源に充てる。

(増減理由)

・合併振興基金：合併振興事業の財源として44百万円の取崩しを行ったことによる減。
 ・公共施設等総合管理基金：施設の老朽化に伴う整備に係る将来的な財政需要を見込んだ90百万円の積立てと、維持補修費等の財源として30百万円の取崩しを行ったことによる差引きの増。

(今後の方針)

・合併振興基金：合併振興事業の財源として、毎年度継続的に取崩しを行っていく予定である。
 ・公共施設等総合管理基金：公共施設の維持補修費等の内容に応じて、適宜取崩しを行っていく。また、決算状況を踏まえ、必要に応じて、積立てを行う予定である。